

神戸市バス37系統減便・復活等に関する陳情

陳情第 129号

交通局

陳 情 要 旨 等	
陳情者	神戸市東灘区 市民の足を守る東灘の会 市バス37系統もんだい深江の会 坂田 邦子
陳情要旨	「神戸市バス 37 系統減便・復活等に関する陳情」について 【陳情第 129 号】 1. 住吉駅行きの午前 9 時台を復活すること 2. 甲南山手行きの運行を復活すること 3. 37 系統 B への乗り継ぎ時間（現在 30 分）を短縮すること 4. 37 系統 A で住吉駅北停留所まで行けるようにすること 5. 37 系統の運行を 4 月以前の運行に復活すること
陳 情 に 対 す る 神 戸 市 の 考 え 方	
1. 37 系統（37A・37B）の路線変更について 市バス事業は、新型コロナウイルス感染症の影響による移動需要の減少や変化、少子高齢化や人口減少社会の到来に加え、昨今の原油高・物価高等による諸経費の増加、また運転士の担い手不足が全国的にバス事業経営に大きな影響を及ぼすなど、事業経営を取り巻く環境は極めて厳しく、市バス事業はこれまで経験したことのない危機的な状況にある。 市バス事業は令和 5 年度決算において、企業債残高は 93 億円、資金不足比率は 19.4%となった。資金不足比率が 20%を超えると経営健全化団体となり、経営改善に向け抜本的な対策、具体的には、運賃の大幅値上げ、路線廃止、大幅な減便など、急激な利用者負担の増加に踏み込まなければならなくなる可能性がある。 こうした状況下において、公営交通として安全かつ安定的に事業を継続していくため、昨年 10 月に運賃改定を実施させていただいたところであるが、ご利用者にご負担をお願いするのみならず、交通事業者として最大限の経費削減や増収対策など、あらゆる経営努力を続けていく必要がある。将来にわたり市民の足を守っていく、最寄りの鉄道駅までの移動手段を確保していくためには、現状の路線・運行本数をそのまま維持していくことは困難であることから、令和 7 年 4 月に東灘・灘エリアを中心とした路線変更を実施した。 このたびの 37 系統の見直しについては、以下の状況を踏まえ、検討を実施した。 ○ 旧 37 系統の課題 ・ 一運行約 16.2km、所要時間 90 分以上と非常に長大な路線であり、道路状況の影響を受けやすく遅延が発生しやすいなど、運行効率が悪い状況であった。（別紙 1 参照） ・ 利用データ（2 タッチデータ）を分析した結果、特に日中時間帯や JR 甲南山手を発着する区間など、ご利用の少ない区間・時間帯が見られた。（別紙 2 参照） ・ 結果として、営業係数は 220 と収支状況も大変厳しい状況にあった。 ○ 路線変更の考え方 ・ 深江南町地域など、バス路線が生活に不可欠な地域や、37 系統のみが運行しているバス停については、最寄り鉄道駅へのアクセスを維持していく必要がある。 ・ これらの状況を改善するため、2 タッチデータによる利用状況も踏まえ、需要と供給のバランスを図るべく、JR 住吉駅前での系統分割、一部ルートの見直し、35 系統との連続運行による効率化、利用実態に応じた運行本数の設定等を実施した。（別紙 3 参照） 2. 陳情事項への考え方 ① 住吉駅行きの午前 9 時台を復活してください ② 甲南山手行きの運行を復活してください ・ このたびの路線及びダイヤ変更は、路線全体の持続可能性を確保することを最優先に、人員や車両等の限られた経営資源を、より乗車需要の多い時間帯や区間に重点的に配分する必要があるとの観点で実施した。 ・ そのため、37 系統沿線からは阪神深江を経由して JR 住吉へ連絡する移動手段を確保することを基	

本とした。一方、JR 甲南山手は、日中時間帯において 1 便あたり 2～3 名程度のご利用に留まる状況ではあるものの、朝・夕の時間帯は一定の乗車需要があることから、甲南山手～深江間の運行ダイヤを維持することとした。

- ・これにより、深江南町エリアの 9 時台については阪神深江・JR 住吉へ直接向かう便はないが、JR 甲南山手への移動手段を確保している。
- ・これらは 37 系統自体を維持しつづけるための見直しであり、ご理解をいただきたい。
(別紙 4 参照)

③ 37 系統 B への乗り継ぎ時間(現在 30 分)を短縮してください

④ 37 系統 A で住吉駅北停留所まで行けるようにしてください

- ・この度の路線及びダイヤ変更は、路線網全体を維持することを目的として、単独路線個別ではなく、エリアの路線全体を複合的に関連付けた運行効率の最適化を行っている。
- ・旧 37 系統は一周 16.2km、所要時間 90 分を超える長大な路線であり、非常に運行効率が悪いという課題があった。加えて、深江南町方面から阪急御影方面への直通利用は旧 37 系統全体の 4.4%と僅少であったことも考慮し、利用動向の結節点でもある JR 住吉駅前で分割し、35 系統との連続運行を行うことにより効率化を図った。
- ・その上で、35 系統との連続運行となる日中時間帯においては、国道 2 号線北側の東行のりばへ 37A 系統を停車させることにより、バス停前の商業施設のエスカレーター等を利用して、JR 住吉駅や駅北側へスムーズに移動していただくことができ、他のバス路線への乗り換えの円滑化や 35 系統との連携により東灘区役所へのアクセスも可能としているなど、お客様の利便性向上を図っている。(別紙 5 参照)
- ・一部の便を除き、37A 系統は 35 系統へ、37B 系統は 37A 系統へそれぞれ連続運行している。乗り継ぎを伴うご利用については、他方面も含めご利用状況を引き続き観察させていただく。なお、JR 住吉駅から阪急御影方面へは 37B 系統に加え 39 系統のご利用もご案内している。

⑤ 37 系統の運行を 4 月以前の運行に復活してください

前述の通り、市バス事業を取り巻く厳しい経営環境や、旧 37 系統が抱えていた課題（長大路線、非効率性、厳しい収支、利用実態との乖離など）を解消し、今後も最寄りの鉄道駅までの移動手段を確保していくためには、今回の見直しは妥当なものであったと考えている。

3. 今後の対応について

市バス事業は大変厳しい経営環境にあるが、市民の皆様の日常生活を支える重要な公共交通機関としての役割を認識し、事業継続に努めていく。

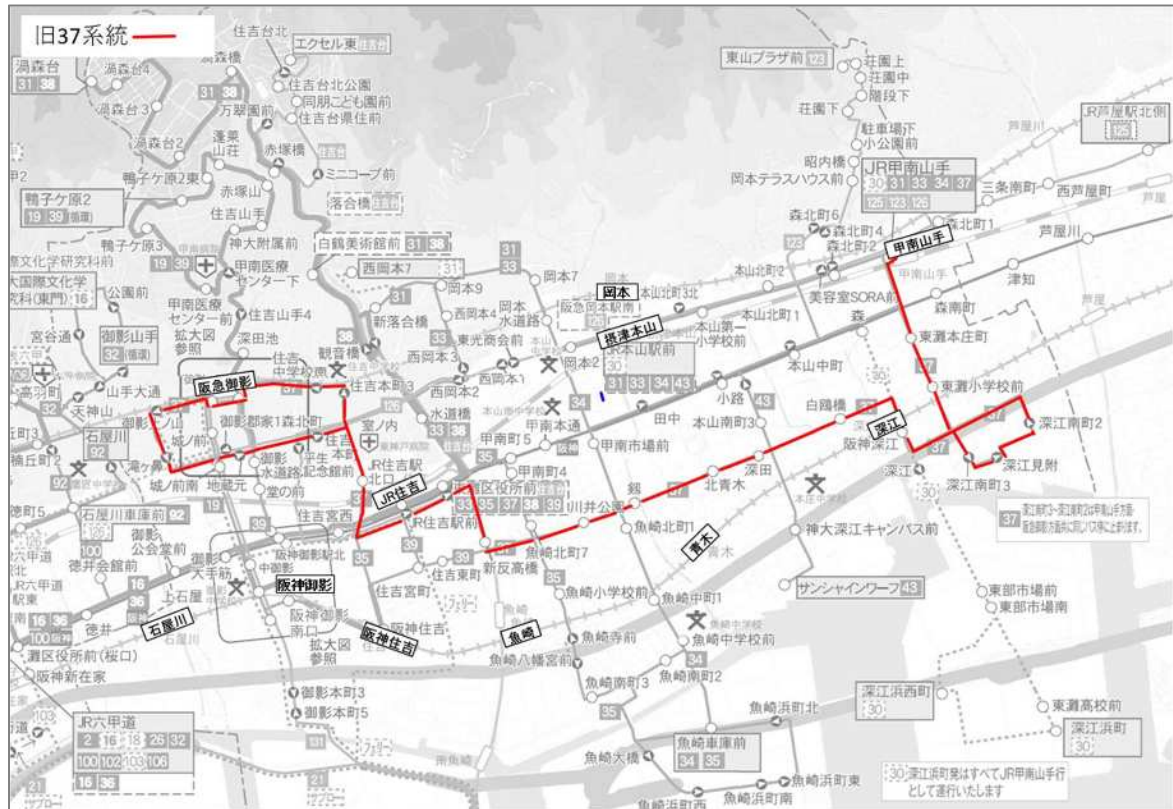
今回の路線再編後も、引き続き利用状況を注視し、2 タッチデータなどの客観的なデータに基づき、需要に応じた適切なルート設定やダイヤ編成、運行本数の設定など、見直しを図ることにより、収支改善とともに、公共交通の維持、最寄り鉄道駅までの移動手段の確保に努めてまいりたい。

(別紙)

1. 旧37系統の路線

- ・全長 16.2km、所要時間 90 分以上という非常に長大な路線であり、道路状況の影響を受けやすく遅延が発生しやすいなど、運行効率が悪い状況であった。

(▼旧 37 系統の路線図)



2. 2 タッチデータによる利用状況

(1) 路線全体の利用状況

- ・日中時間帯においてご利用の少ない区間・時間帯が見られた。

(▼旧 37 系統全停留所乗車データ 2025.1~3【平日平均】)

		J R 甲 南山手	東 灘本 庄町	東 灘小 学校前	深 江南 町3丁 目	深 江南 町2丁 目	阪 神深 江	白 鷗橋	深 田	北 青木	鵜 飼	川 井公 園	新 反高 橋	東 灘区 役所前	J R 住 吉駅 前	J R 住 吉駅 北口	住 吉中 学校南	阪 急御 影	御 影上ノ 山	滝ヶ 鼻	地 蔵元	住 吉本 町	J R 住 吉駅 北口	J R 住 吉駅 前	東 灘区 役所前	新 反高 橋	川 井公 園	鵜 飼	北 青木	深 田	白 鷗橋	阪 神深 江	深 江南 町3丁 目	深 江南 町2丁 目	東 灘小 学校前	東 灘本 庄町	J R 甲 南山手			
7	740	1	1	2	2	3	6	5	7	10	12	13	15	14	14	11	9	7	6	3	5	7	8	10	6	6	4	5	4	4	4	2	1	3	5	8	9	8	0	
8	828	1	1	2	4	6	11	11	10	12	13	12	14	15	12	10	5	4	5	3	5	8	9	8	5	4	4	4	4	4	4	4	3	4	6	10	9	8	0	
9	916	2	2	3	7	9	14	12	12	13	14	15	16	17	13	9	6	5	5	2	5	7	8	8	5	5	5	4	4	5	5	6	5	5	4	5	7	7	6	0
10	1004	3	3	4	5	7	12	10	12	13	12	13	14	15	10	9	7	7	7	5	5	6	7	7	5	6	8	8	8	8	7	7	7	7	6	6	5	5	4	0
	1052	3	3	4	4	6	10	7	8	9	9	10	11	11	9	7	6	6	6	5	4	3	3	4	4	6	8	8	7	7	7	6	5	5	4	4	4	4	0	
11	1140	3	4	5	5	6	7	8	7	8	9	9	9	9	7	6	6	6	4	4	5	5	6	7	11	11	10	10	10	9	8	8	8	7	5	3	3	2	0	
12	1228	3	4	4	6	6	8	9	10	11	13	14	13	13	9	8	7	7	6	4	3	4	5	5	9	10	9	8	8	7	6	6	6	5	4	3	3	0		
13	1316	2	3	3	4	4	6	6	8	8	9	9	10	10	7	6	5	4	4	2	3	4	4	4	4	7	8	7	6	6	5	5	6	6	4	3	3	0		
14	1404	2	3	3	3	3	5	5	6	6	7	7	8	9	8	6	6	7	6	4	5	5	6	6	8	10	10	10	9	7	6	6	6	5	3	2	2	0		
	1452	2	3	3	3	3	4	5	5	5	5	6	8	8	7	7	7	6	4	4	4	5	6	5	6	9	11	11	10	9	8	8	7	7	6	5	1	1	1	0
15	1540	4	4	4	4	4	4	4	5	6	6	7	8	7	6	8	6	6	5	3	3	4	4	5	8	9	9	8	8	7	6	5	6	6	4	2	1	1	0	
16	1628	3	5	5	5	5	4	4	5	5	5	5	5	5	4	6	6	6	5	4	4	4	4	4	6	7	7	7	7	7	5	5	6	6	4	2	2	1	0	
17	1716	2	3	3	3	3	2	3	4	5	6	6	6	5	5	7	6	6	4	3	3	3	3	4	6	6	6	5	5	4	4	3	3	3	2	1	1	0		
18	1804	2	2	3	3	3	2	2	2	4	5	5	5	5	4	4	5	5	5	2	2	3	2	2	4	4	4	3	3	2	2	2	2	2	2	1	1	1	0	

(2) 甲南山手発着便の利用状況

- ・JR 甲南山手駅、東灘本庄町、東灘小学校前の各停留所からの乗降者は、日中時間帯において1便あたり2～4名程度と極めて限定的。
- ・利用実態を踏まえ、日中のJR 甲南山手への乗り入れを見直し、朝夕の需要に応じた運行とした。

(▼旧 37 系統 JR 甲南山手発着便の停留所別車内人数データ 2025.1～3(平日平均))

① 甲南山手発

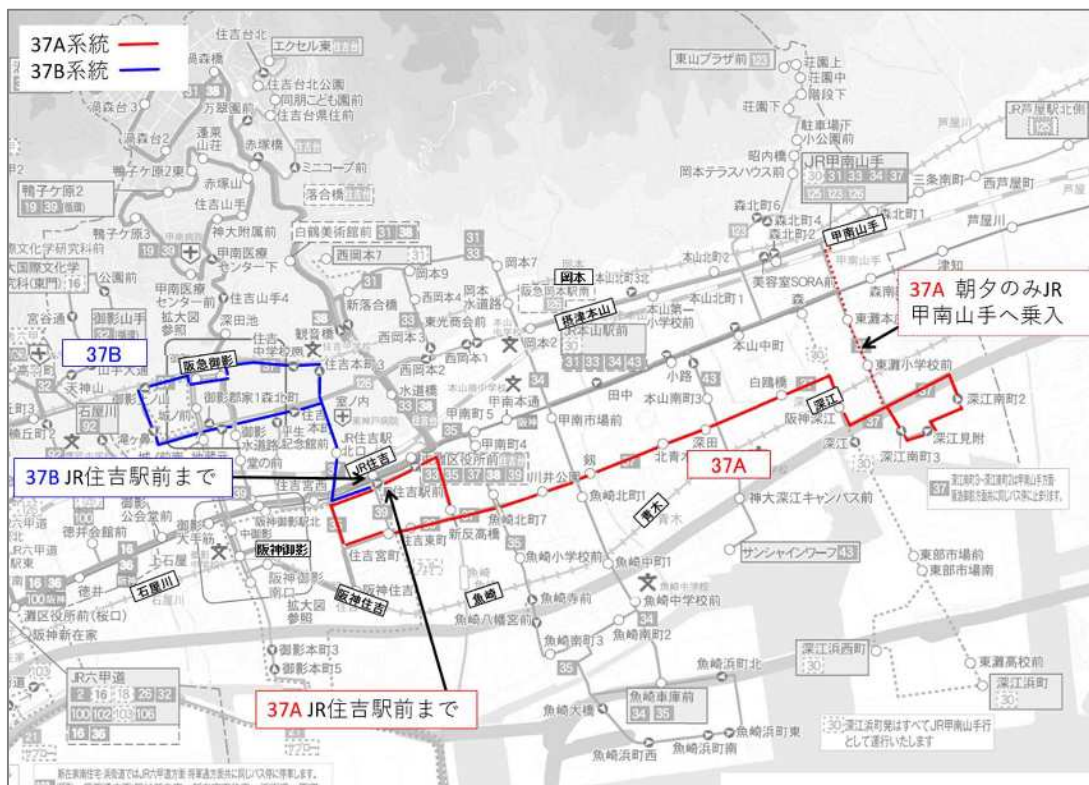
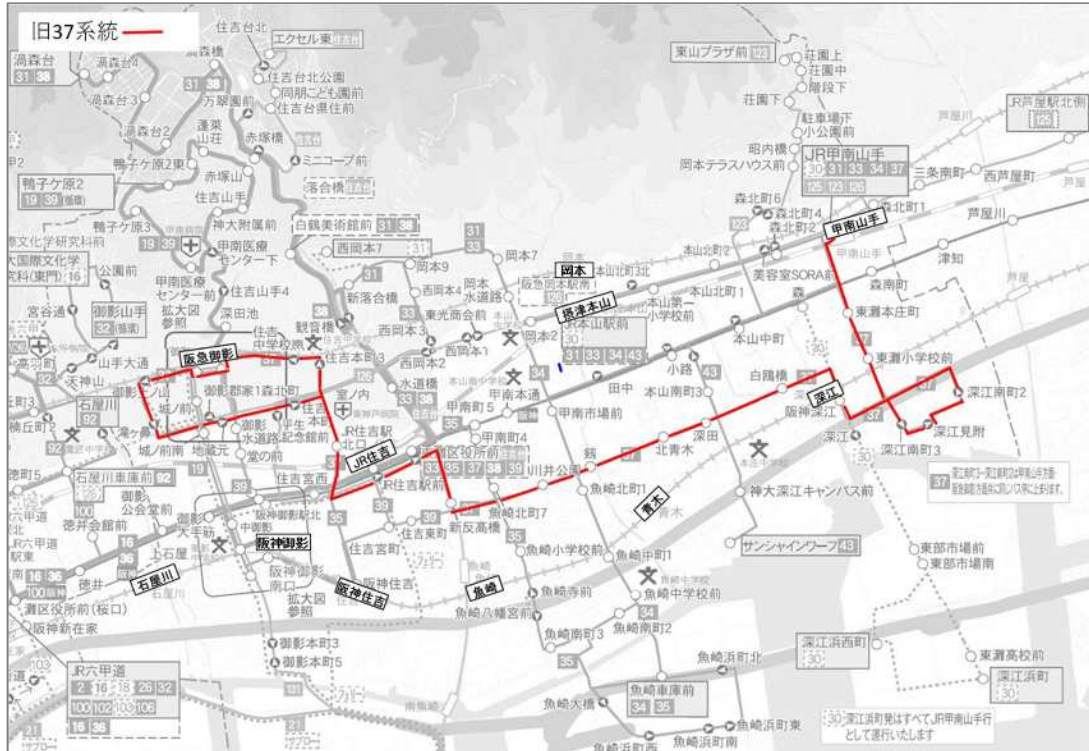
時間帯	始発時分	J R 甲..	東灘本..	東灘小..	深江南③	深江見附	深江南②	阪神深江
7	740	1	1	2	2	3	6	5
8	828	1	1	2	4	6	11	11
9	916	2	2	3	7	9	14	12
10	1004	3	3	4	5	7	12	10
	1052	3	3	4	4	6	10	8
11	1140	3	4	5	5	6	7	7
12	1228	3	4	4	6	6	8	9
13	1316	2	3	3	4	4	6	6
14	1404	2	3	3	3	3	5	5
	1452	2	3	3	3	3	4	5
15	1540	4	4	4	4	4	4	4
16	1628	3	5	5	5	5	4	4
17	1716	2	3	3	3	3	2	3
18	1804	2	2	3	3	3	2	2

② 甲南山手着

時間帯	始発時分	阪神深江	深江南②	深江見附	深江南③	東灘小..	東灘本..	J R 甲..
7	740	1	3	5	8	9	8	0
8	828	3	4	6	10	9	8	0
9	916	5	4	5	7	7	6	0
10	1004	7	6	6	5	5	4	0
	1052	5	5	4	4	4	4	0
11	1140	8	7	5	3	3	2	0
12	1228	6	6	5	4	3	3	0
13	1316	6	6	4	3	3	3	0
14	1404	6	6	5	3	2	2	0
	1452	7	6	5	1	1	1	0
15	1540	6	6	4	2	1	1	0
16	1628	6	6	4	2	2	1	0
17	1716	3	3	2	1	1	1	0
18	1804	2	2	2	1	1	1	0

3. 課題をふまえた 37 系統の路線変更（2025.4.1 実施）

- ・ JR 住吉駅前を境に 37A 系統と 37B 系統に分割。
- ・ 日中時間帯は 37A 系統・37B 系統と 35 系統を連続して運行することで、車両運用の効率化を図る。これにより、JR 住吉駅をまたいでの引き続きの乗車も一部可能。
- ・ 37A 系統の JR 甲南山手への乗り入れは、利用実態を踏まえ朝夕のみとしている。

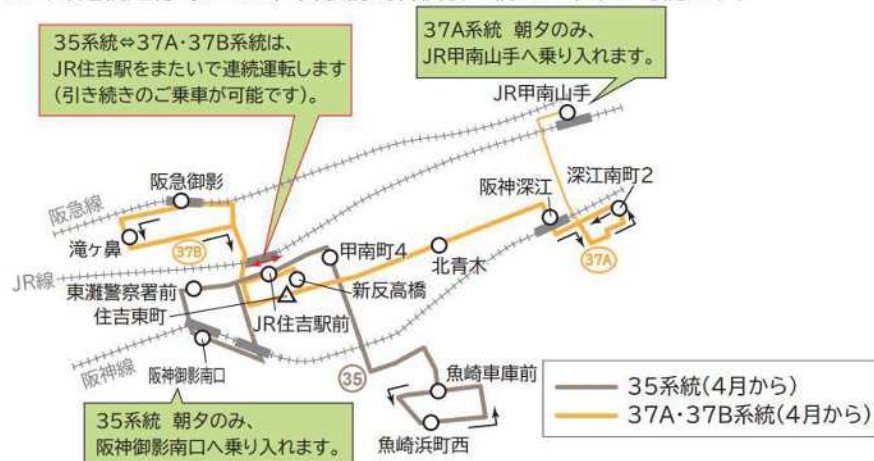


▼再編後の 37A 系統・37B 系統の運行ルート変更ポイント

■ (37A) 系統(JR住吉駅前～阪神深江～深江南町2～JR甲南山手)

(37B) 系統(JR住吉駅前～阪急御影)

これまでの③7系統を③7A系統、③7B系統に分けて運行します。JR住吉駅前以东が③7A、JR住吉駅前以西が③7Bとなり、深江南町～JR甲南山手間は朝夕のみの運行、日中時間帯は③5と連続運行します。連続運行時は、JR住吉駅前到着後引き続きご乗車が可能です。



▼日中時間帯における 35 系統・37A 系統・37B 系統の連続運行パターン

③⑤③⑦A③⑦B 系統の日中時間帯の運行順序

日中時間帯は、35系統、37A系統、37B系統をつないで連続して運行します。

日中時間帯の運行順序:(一部の停留所を記載しています)

魚崎車庫前→甲南町4→JR住吉駅前→阪急御影→滝ヶ鼻→JR住吉駅前→新反高橋→北青木→
 阪神深江→深江南町2→阪神深江→北青木→住吉東町→JR住吉駅前→甲南町4→魚崎車庫前

日中時間帯の
③⑤ ③⑦A ③⑦B 系統の
運行順序

35系統⇄37A・37B系統は、JR住吉駅をまたいで連続運転します(引き続きのご乗車が可能です)。



5. JR 住吉駅前のりばのご案内（参考）

- ・37A 系統（深江方面から）の日中便は、JR 住吉駅前（東向きのりば）に停車後、35 系統として連続運行する。
- ・この変更により、JR 駅や駅北側へ向かわれるお客様が、交通量の多い国道 2 号線を横断する必要がなくなる。また、他の主要バス路線との乗り換えもスムーズに行える。

▼JR 住吉駅前 バスのりば案内図

 = 今回陳情の停留所



JR住吉駅前バスのりば R7.4.1 現在